

2020年10月27日

会社名 株式会社ジェイック
代表者名 代表取締役 佐藤 剛志
(コード番号 7073 東証マザーズ)

若手社員の研修方法に関する人事担当者アンケート

オンライン化が進む中、研修自体を延期または中止する中小企業も

当社は、「若手社員（20代／新卒含まず）の研修方法」に関するアンケート結果を発表します。回答者数は220名（2020年8月14日-8月27日）となります。

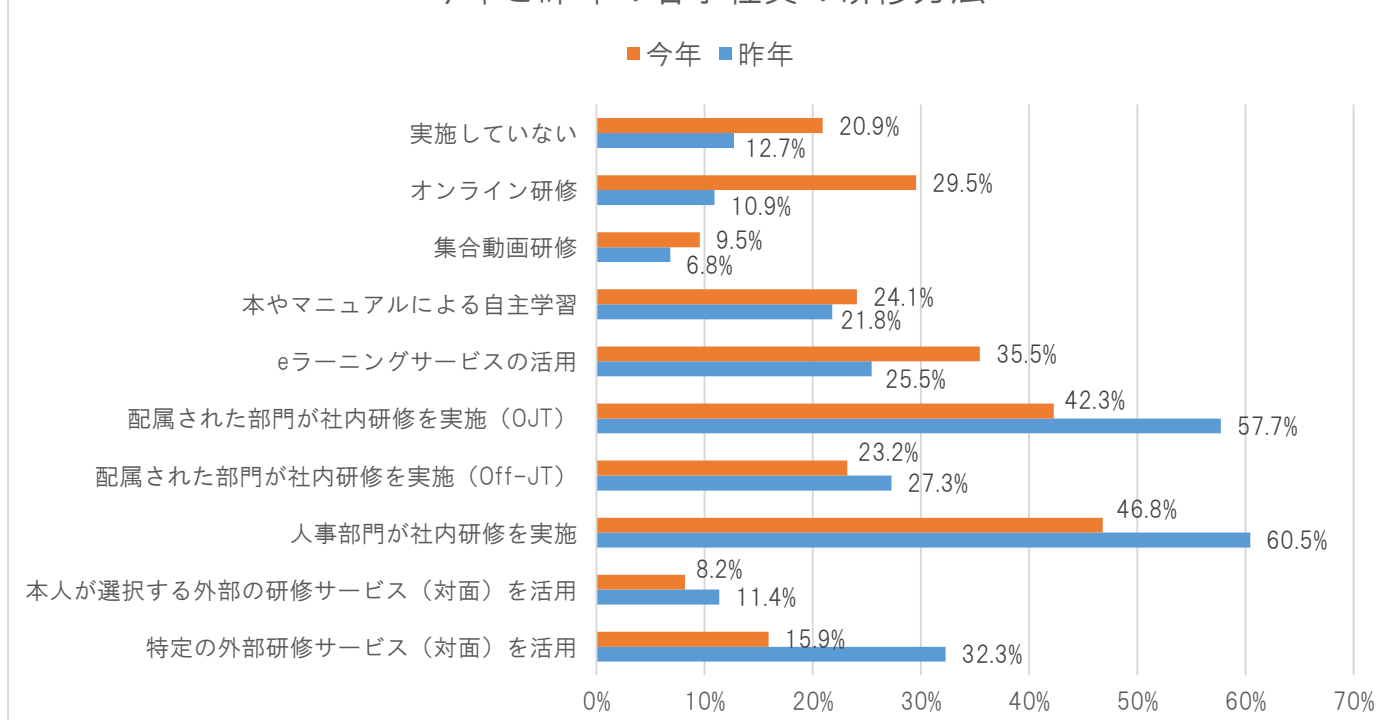
アンケートの結果、「オンライン研修」と「eラーニングサービスの活用」を合わせると65.0%で、昨年の36.4%から30ポイント近く増加した一方で、「特定の外部研修サービス（対面）を活用」は昨年の半分以上でした。このことから、コロナ禍の今年、若手社員向け研修の実施方法は対面からオンラインへ大きくシフトしたと考えられます。

<昨年と比べると、オンライン研修とeラーニングが大幅増>

若手社員の研修方法について、昨年のアンケート結果と比べると、今年は「オンライン研修」29.5%（昨年10.9%）、「eラーニングサービスの活用」35.5%（昨年25.5%）、「特定の外部研修サービス（対面）を活用」15.9%（昨年32.3%）と、オンライン化が鮮明となりました。

また、「実施していない」という回答も20.9%（昨年12.7%）で、研修自体の取りやめも多くなっています。

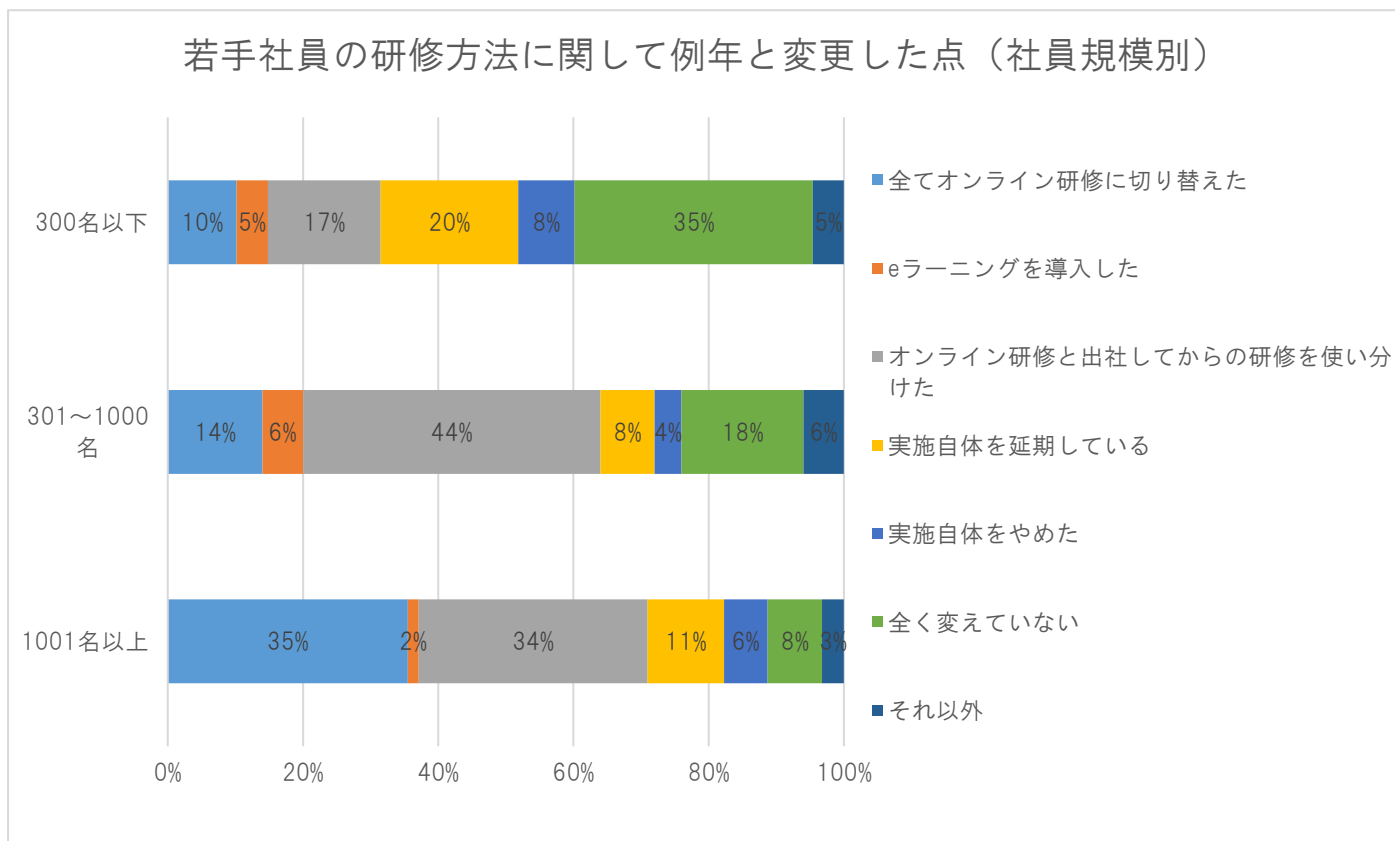
今年と昨年の若手社員の研修方法



<若手社員の研修方法に関して例年と変更した点（社員規模別）>

企業規模別に、若手社員の研修方法に関して変更した点を見ると、従業員 1001 名以上の企業では約 7 割がオンラインを含んだ研修方法に切り替えている一方で、従業員 300 名以下の企業については、オンライン化の割合が約 3 割と相対的に低く、研修を延期または中止した割合は約 3 割と相対的に高いことがわかります。

当社にも、「オンラインに切り替えようにも、パソコンやインターネット環境等のインフラが整っておらず苦労した」「オンライン研修のノウハウがなく、やむを得ず延期・中止にしてしまった」「オンラインや e ラーニングでの教育効果に懐疑的なため、踏み切れていない」といった、オンライン化に悩む企業の声が届いています。



【調査概要】

調査名称 : 「若手社員（20 代／新卒含まず）の研修方法」に関するアンケート
対象 : 上場および非上場企業の人事責任者・担当者
回答者数 : 220 名
調査期間 : 2020 年 8 月 14 日～8 月 27 日
調査方法 : Web アンケート（HR プロ）

【お問い合わせ先】

株式会社ジェイック 担当：稲葉
E-mail : info@jaic-g.com テレワーク実施中のため、メールでのご連絡をお願い致します。